

令和8年3月18日

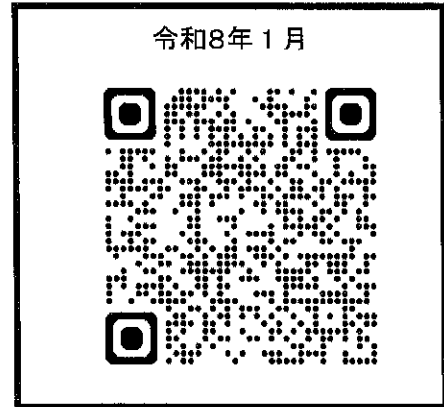
関係各位

苫小牧労働基準協会

令和8年2月末現在苫小牧署管内業種別災害発生状況

日頃より苫小牧労働基準協会の運営にご協力頂き感謝申し上げます。
さて、苫小牧労働基準監督署管内の2月末現在の災害状況を送信致します
ので、安全活動の参考にして下さい。

尚、この資料は北海道労働局ホームページより抜粋しております。
下記QRコードから労働災害発生状況にリンクします。



令和8年 業種別労働災害発生状況

(令和8年2月末現在)

苫小牧労働基準監督署

区分 業種別	令和8年			令和7年			対前年		業種割合 (%)
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率	
全産業合計	1	(6) 91	(6) 92		(5) 71	(5) 71	21	29.6	100.0
製造業	1	16	17		15	15	2	13.3	18.5
食料品		3	3		4	4	-1	-25.0	3.3
木材木製品		2	2		1	1	1	100.0	2.2
紙・パルプ					2	2	-2		
窯業・土石	1	1	2		4	4	-2	-50.0	2.2
金属・機械		2	2		1	1	1	100.0	2.2
輸送用機械		3	3		1	1	2	200.0	3.3
その他		5	5		2	2	3	150.0	5.4
鉱業									
土石採取業									
建設業		3	3		4	4	-1	-25.0	3.3
土木工事業		1	1				1		1.1
建築工事業		2	2		3	3	-1	-33.3	2.2
木造建築業									
その他の工事業					1	1	-1		
道路貨物運送業		(2) 13	(2) 13		(1) 12	(1) 12	1	8.3	14.1
その他の運輸業		9	9		6	6	3	50.0	9.8
陸上貨物取扱業									
港湾荷役業		1	1		2	2	-1	-50.0	1.1
林業									
漁業									
卸売・小売業		11	11		(1) 3	(1) 3	8	266.7	12.0
清掃業		5	5		6	6	-1	-16.7	5.4
ゴルフ場		1	1		1	1			1.1
その他の事業		(4) 32	(4) 32		(3) 22	(3) 22	10	45.5	34.8

※ 本統計は、労働者死傷病報告書（休業4日以上）により集計したもの。

() 内は交通事故で内数です。

業種別労働災害発生状況（その2）

「その他の事業」の内訳

（令和8年2月末現在）

業種別	令和8年			令和7年			対前年		業種割合 (%)
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率	
農 業 業		2	2		1	1	1	100.0	2.2
畜 産 業		4	4		4	4			4.3
理 美 容 業									
その他の商業		1	1		1	1			1.1
金融・広告業		(1) 2	(1) 2				2		2.2
映画・演劇業									
通 信 業		(2) 9	(2) 9		(3) 3	(3) 3	6	200.0	9.8
教育・研究業									
保健・衛生業		(1) 13	(1) 13		10	10	3	30.0	14.1
飲 食 店		1	1		2	2	-1	-50.0	1.1
その他接客娯楽業 (ゴルフ場を除く)									
上記以外の事業					1	1	-1		
合 計		(4) 32	(4) 32		(3) 22	(3) 22	10	45.5	34.8

※ 本統計は、労働者死傷病報告書（休業4日以上）により集計したものである。

（ ）内は交通事故で内数です。

令和8年 死亡災害発生状況

(令和8年2月末現在)

苫小牧労働基準監督署

件数	発生月	発生時間	事業の種類	規模	災害の種類	起因物	災害発生状況の概要
1	1	16時台	製造業	～5人	巻き込まれ	フォークリフト	コンクリートを製造する工場の中央通路において、同工場内に入場していた他の作業員が運転するフォークリフトが前進で走行していたところ、当該フォークリフトが被災者に接触し、前輪に身体が巻き込まれたもの。

過去10年間の死亡災害発生状況

発生年	28	29	30	令元	2	3	4	5	6	7	合計
死亡件数	5 (2)	9	4	3	2 (2)	5	5 (1)	4 (1)	1 (1)	5 (1)	43 (8)

※死亡件数欄のカッコ内の数字は交通事故の件数で内数



1 冬季ゼロ災運動について

北海道労働局では、令和7年12月1日から令和8年3月31日までを取組期間として「北海道冬季ゼロ災運動」を展開します。

運動期間中に取り組むべき各種対策を確認していただき、特に転倒、交通事故除雪作業（雪下ろし・重機災害）、一酸化炭素中毒の防止に取り組みましょう。



2 駐車場での転倒災害が多発しています

今年の冬は積雪が多く、特に凍結した駐車場での転倒災害が急増しています。

駐車場は、車の出入りで雪が踏み固められやすい、エンジンの熱で溶けた雪が再凍結する、見た目では凍っていることに気づきにくいという特徴があります。

小まめな除雪、融雪剤や焼砂を撒く等の対策をお願いします。



各詳細については、右のQRコードからリンク先の資料等をご確認ください。